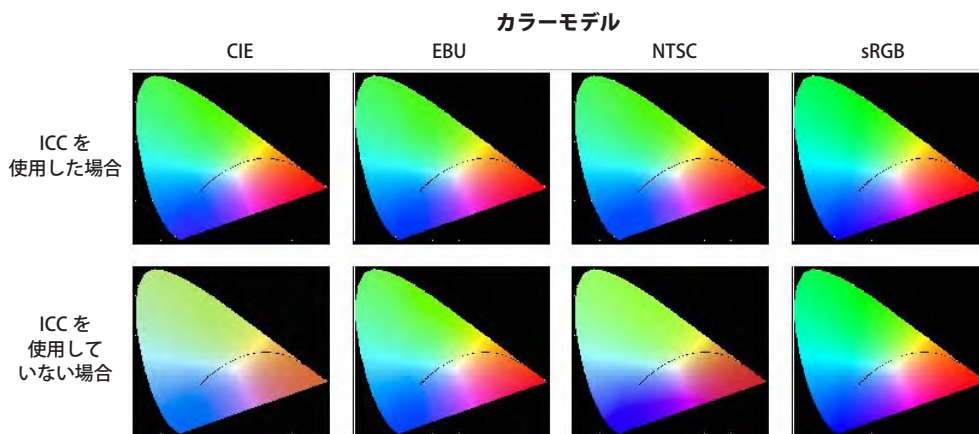


# PNG ファイルの直接使用

PNG (Portable Network Graphics) ファイルは、拡張性のある、損失なしで、移動に便利な、圧縮性の良いラスタ画像用のファイル形式です。PNG ファイルは 8 ビットと 16 ビットのカラーマップ画像、8 ビットと 16 ビットのグレイスケール画像、16 ビットと 24 ビットの RGB トゥルーカラー画像をサポートしており、オプションでアルファチャンネルが使用できます。アルファチャンネルは 8 ビットの不透明マスクで、透明はもちろん半透明にも使えます。表示や印刷でベストの色を実現するため、PNG ファイルには多様な情報を入れることが可能です。この情報には、国際標準化機構 (ISO) の国際カラー・コンソーシアム (ICC, Mac では ICM と呼ばれています) プロファイルや、ガンマと色度情報およびアルファチャンネルなどが含まれることがあります。

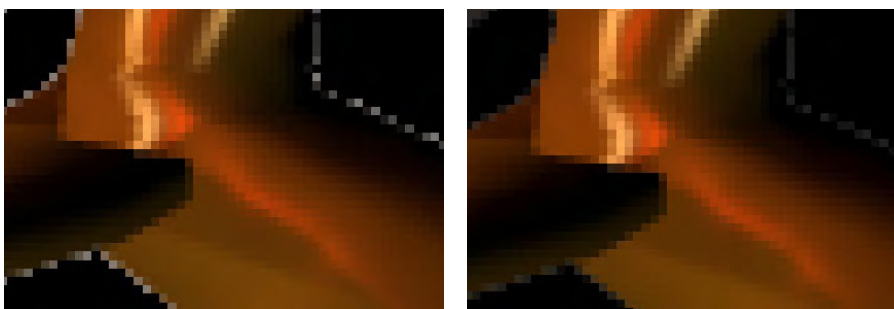


上図は 4 つの異なるカラーモデルに対して ICC/ICM カラープロファイルを使用した場合の効果を表わしています。

sRGB はコンピュータモニターの標準的なカラーモデルなので、カラープロファイル情報が使用されているか否かに関係なく、画面キャプチャは同じように見えます。他のカラーモデルを使用しているファイルには、sRGB モニターディスプレイ標準と合わせるために、それらの ICC/ICM カラープロファイルを適用することが必要です。

古いファイルや古いアプリケーションで作成された PNG ファイルには、ガンマと色度に関するセクションがあります。もしも PNG ファイルにガンマと色度に関するセクションがあれば、それは ICC/ICM プロファイルを持たないでしょう。逆も同様です。TNT 製品へインポートする際には、ガンマと色度情報は、ラスタのサブオブジェクトとして作成される ICC プロファイルに変換されます。

PNG ファイルのアルファチャンネルは 1 ビットのバイナリマスクではなく 8 ビットの不透明マスクなので、部分的な透明度を使用してエイリアシング除法を提供出来ます。不透明マスクの 255 の値は、ラスタ画像の表示がマスク (100% 不透明) によって影響を受けないことを意味し、他方、0 の値はラスタ画像が背景に対して透明 (0% 不透明、100% 透明) ということの意味します。中間の値ではさまざまな透明度が可能です。アルファチャンネルは直接表示の際アクセスされ、インポートする際はラスタオブジェクトのサブオブジェクトとして保存されます。表示において透明性を適用するには、他のマスクと同様にこのサブオブジェクトを選択して下さい。



エイリアシング除法はアルファチャンネルが不透明マスクとして選択されている時、効果的に使用出来ます。右図ではマスクが選択されていて、左図では選択されていません。

左の画面キャプチャの画像は、次にあげる多くの異なるカラーモデルに対してカラープロファイルを使用した場合の効果を示しています: CIE (Comite International d'Eclairage, 国際照明委員会のフランス語)、EBU (欧州放送連合)、NTSC (全米テレビジョン放送方式標準化委員会)、sRGB (スタンダード RGB)。各図は sRGB 色空間を 2 次元に投影した画像を表わして



マスクとして選択されているアルファチャンネルがある場合 (上図) とない場合 (下図)

